



倉内開発局長(右)が賞状を渡し、優れた成果をたたえた

# 72者の栄誉たたえる

## 開発局優良工事等局長表彰

北海道開発局は11日、2020年度優良工事等局長表彰式を札幌第一合同庁舎で開いた。局長賞を受賞した工事37者、業務35者の代表と技術者に、件、業務41件を選定した。新型コロナウイルス感染症の拡大を鑑みて一度開催を見送ったものの、受賞者からの表彰式への要望も強く、フェイスシールドとマスクの着用、手指消毒の徹底など感染症対策を万全とした上で開催の運びとなった。倉内局長は「社会資本の意を示した。工事成績優秀企業の認定証授与式も行い、過去2年の成績評定が特に優秀な30社の代表にも認定書を贈呈。斉藤建設(函館)、真壁建設(根室)、錦産業(稚内)、草野作工(江別)、西江建設(帯広)、松本組(函館)、砂子組(奈井江)、高木組(函館)、松谷建設(北見)、宮坂建設工業(帯広)の10社は局長表彰との同時受賞となった。

倉内公嘉局長が表彰状を手渡し栄誉をたたえた。19年度に完了した工事1701件、業務2749件の中から創意工夫や困難な条件を克服し、顕著な成果を上げた工事37

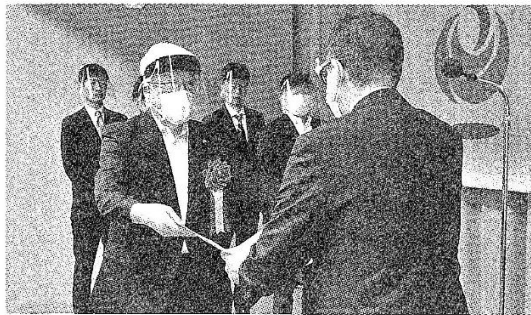
また、「技術者の皆さんのご家族の支えあっての受賞。喜びを分かち合ってもらえれば」と、家族の協力に対しても感謝の意を示した。専門紙の北海道建設新聞社、北海道通信社からは技術者の子ども向けに図書券が贈呈されたほか、北海道建設業信用保証からはQOカードが贈られた。

# 開発局 20年度優良工事等局長表彰

## 家族とともに喜びを 倉内局長 工事37者、業務35者に光



新型コロナウイルス感染拡大防止対策を万全に講じた上で、倉内局長が受賞企業と技術者に表彰状を手渡した＝上段工事部門、下段業務部門＝



開発局は11日、札幌第1合同庁舎で2020年度優良工事等表彰の局長表彰式を挙行政た。倉内公嘉局長が受賞企業の代表者と技術者に表彰状を授与。たゆまぬ努力と研鑽に敬意を表するとともに、今後の活躍に期待を寄せた。

＝関連記事2面＝

開発局は、例年、7月に式を開催してきたが、こと優良工事等表彰の局長表彰式は、新型コロナウイルス

感染拡大防止の観点から、実施を見送っていた。一方で、受賞企業から、表彰式を強く望む声が寄せられたことから、希望者を対象に実施することとした。

表彰式は、従来の3部署から、一部当たりの参加人数を少なくするため、5部署構成に細分化。近年、受賞した技術者の家族や若手技術者にも参加してもらっていたが、必要最小人数で

開催するため、参加を受賞企業の代表者と技術者等に限定した。

表彰会場は、受賞者同士の席を離し、表彰状の授与に当たってもソーシャルディスタンスを確保した。

本年度、局長表彰の工事部門は37件で、岩田地崎建設(株)(札幌)、伊藤組土建(株)(札幌)、岩倉建設(株)(本社・札幌、本店・苫小牧)など実数で37者が栄誉に輝いた。業務部門は41件、(株)ドーコン(札幌)、(株)開発工営社(札幌)、(株)構研エンジニアリング(札幌)など実数で35者が受賞した。

受賞企業の代表者と技術者に表彰状を授与したあと、倉内局長が式辞。技術者にとって栄えある記念すべき舞台として表彰式に対する受賞企業の強い要望が寄せられたことから、今回、実施したことを説明。

その上で、「受賞は、社を挙げた努力、技術者の日ごとの研鑽はもとより、何より家族の支えがあったのもので、記念撮影の場を設けたので、写真とともに、家族と喜びを分かち合っていただけば」と述べた。

受賞企業に対しては、「昨年1年間の中で最も優れた信頼される成果品を納めた」と高く評価。今後またゆまぬ努力と活躍に期待を寄せた。

このあと、倉内局長をはじめとする開発局幹部と受賞企業の代表者、技術者による記念撮影を実施。受賞者たちは、晴れ晴れとした表情で撮影に心じていた。